



しっぽもひと役



【学校教育目標】やさしさと思いやりで、笑顔がいっぱい
～本物の笑顔あふれる山里小～

長崎市立山里小学校 校長 山崎直人

笑顔の修学旅行

9月14日～15日は6年生の修学旅行でした。2日前まで長崎県にはまん延防止等重点措置が発令されていたので、もし延長されていたら修学旅行は延期でした。また台風14号が発生していたので、長崎にもっと接近していたらやはり延期せざるを得なかったでしょう。

昨年度に引き続き、行き先は長崎県内となった修学旅行ですが、それでも実施そのものが危うかったのです。何とか予定通り行きたいという願いが叶いホッとしました。まずは出発の朝を迎えることができたことを子供たちと共に喜び合ったところです。

とはいえ訪問先の佐世保市は長崎県独自の緊急事態宣言が継続しています。そのために急遽一部予定を変更することになりました。また台風の影響で雨も降っています。天候をコントロールすることはできません。それでも子供たちは何事にも前向きに明るく捉え、今できることを精一杯楽しもうとする姿を見せてくれました。



子供たちの感染防止への意識も高く、常時マスクの着用はもちろんのこと、こまめな自主的な消毒、食事の際の黙食も立派でした。本当に静かですねと添乗員さんも感心していたほどでした。

そんな子供たちの一生懸命さや誠実さが伝わったのか、2日目のハウステンボスでは雨が上がり晴れ間が見えたかと思うと、一気に晴天になり暑いくらいでした。おかげで終日しっかりと楽しむことができたのです。

長い時間をかけて6年生の担任を中心に、安心安全で楽しみも学びもある修学旅行のプランを練り上げてきました。しかし大人ができるのはそこまでです。肝心の中身を創るのは、子供たち自身です。

出発式の朝にそのことを伝え、到着式であらためて確認しました。6年生の子供たちは一人一人それぞれにちゃんと自分たちの修学旅行を創り上げたようです。随所で見られた満足そうな笑顔がすべてを物語っています。

行事は子供たちを確実に成長させます。コロナ禍はまだまだ続きます。けれど学校での子供同士の繋がりを大切にしたい行事や活動は、なくてはならないと考えています。安心安全と両立させ、これからも本物の実りの手応えを感じることでできる学びを続けていきます。

